５－３

【岐阜県】

　2018年9月9日 豚一貫農場 （岐阜市）

579頭(繁殖75頭、肥育362頭、子豚142頭)

　2018年11月16日 畜産センター公園（岐阜市）

21頭(子豚21頭)

　2018年12月5日 畜産研究所 （美濃加茂市）

503頭(繁殖184頭、肥育102頭、子豚217頭)

　2018年12月10日 いのしし飼養施設 （関市）

22頭(いのしし22頭)

　2018年12月15日 農業大学校 （可児市）

10頭（繁殖３頭、肥育７頭）

　2018年12月25日 豚一貫農場 （関市）

7,861頭（繁殖751頭、肥育2,410頭、子豚4,700頭）

　2019年1月29日 豚一貫農場 （各務原市）

1,662頭＊（繁殖127頭、子豚1,535頭）

　（関連と畜場） と畜場 （岐阜市）

（係留頭数）149頭＊

　（関連農場） 豚肥育農場 （本巣市）

867頭＊（肥育豚867頭）

　（関連農場） 豚一貫農場 （恵那市）

4,284頭＊(親豚121頭、子豚4,163頭)

　2019年2月19日 豚肥育農場 （瑞浪市）

5,775頭＊

　2019年3月7日 豚一貫農場 （山県市）

1,507頭＊（親豚137頭、子豚1,370頭）

　2019年3月23日 豚繁殖農場 （山県市）

3,328頭＊（親豚875頭、子豚2,453頭）

　2019年3月30日 豚一貫農場 （美濃加茂市）

666頭＊（親豚72頭、子豚594頭）

【長野県】

（関連農場） 豚肥育農場（宮田村）

2,444頭＊(肥育2,444頭)

（関連と畜場）と畜場（松本市）

（係留頭数）38頭＊

【滋賀県】

　（関連農場） 豚肥育農場 （近江八幡市） 699頭＊(肥育699頭)

【大阪府】

　（関連農場） 豚肥育農場 （東大阪市） 737頭＊(肥育737頭)

**家畜保健衛生所情報**

令和5年6月26日

台風・大雨等の自然災害に備えましょう

今月上旬に本州付近に停滞した梅雨前線と台風2号の影響により、全国各地で大雨や河川の増水、土砂崩れ等の被害が報告されています。今後も、台風や局地的な大雨等による冠水や道路の寸断といった、畜産経営に影響を及ぼす自然災害発生のリスクに備えるため、日頃から下記の取組に努めてください。

（1）府や市町村が公表している防災ハザードマップを確認し、どのような災害にあう可能性があるか予め把握してください。

（2）家畜の飼養管理者及び家畜の避難先や避難経路を予め検討してください。また、被災時の緊急連絡先（役場、農協、家保など）を確認してください。

（3）停電や浸水に備え、発電機や排水ポンプ等の準備に努めてください。

（4）飼料や燃料は、少なくとも１週間以上家畜を飼養するために必要な量を在庫として持つように努めてください。また、飲水についても貯留タンクの設置やくみ上げポンプなどの準備に努めてください。

（1）市町村などから避難勧告が出された場合には、**人命を守るための行動を最優先**してください。

（2）避難までに時間的余裕がある場合には、しばらく飼養管理ができない可能性を考えた対応・対策を講じてください。

（3）機械への通電を再開する際には、漏電やショートに留意し、気をつけて作業をしてください。

（4）道路の寸断等により車両による飼料の搬入が困難な状況が長期化すると想定される場合には、家畜の生命維持を優先に、飼養管理を変更してください。また、避難先候補地への家畜の移動も検討してください。

事前の対策について

被害拡大防止のための対策について

裏面もご確認ください

暑熱ストレスの軽減を図りましょう

今年も既に気温が上がり始めていますが、暑さは家畜の生産性が低下する原因となります。下記の暑熱対策も参考に、夏本番を迎える前の今の内から計画・準備して、家畜の暑熱ストレス軽減に配慮した飼養管理を心がけましょう。

畜舎環境面から

細霧装置の写真　　石灰散布の写真　　換気扇の写真


**★畜舎内での対策**

（１）換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水、散霧

（２）飼育密度の緩和

**★畜舎外での対策**

（１）寒冷紗、よしずによる日除け

（２）屋根裏・壁・床への断熱材の設置

（３）屋根への消石灰の塗布

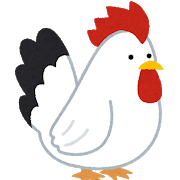
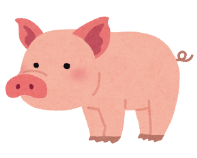
換気扇

細霧装置

石灰散布

**家畜が暑さを感じる温度**

飼養管理面から



約19℃

約22℃

約26℃

（１）良質で消化率の高い飼料給与

1. ビタミンやミネラルの追給

（３）清浄で冷たい水の給与

[](https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_tiku_manage/)

なお、詳しい情報は下記ホームページについてもご確認ください。

1. 人・物・車両によるウイルスの持ち込み防止

* 衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒を徹底してください。
* 衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用を徹底してください。
* 畜舎等の消毒は、次亜塩素酸ナトリウム液、アルカリ液、逆性石けん液等を用いて行ってください。

（付着した泥等を除去し、動力噴霧器を用いて、タイヤ周りを中心に荷台、運転席清拭含め車両全体を消毒。運転手の手指、靴底消毒も徹底）

* 消毒薬は、酸性とアルカリ性が混ざらないように注意し、十分効果のある濃度で使用

1. 消石灰の散布

* 豚舎周囲の、衛生管理区域境界に消石灰を散布しましょう。

消石灰の散布量目安：１kg/㎡

1. 野生動物対策

* いのしし、ねずみ等の野生動物の侵入防止対策を徹底してください。
* 豚舎周囲の清掃、整理・整頓（飼料タンクの下の飼料は野生動物を誘因します）

1. 適切な飼料と水の給与

* 野生動物等の排せつ物が混入していない飼料、水を与えてください。
* 飼料に肉を含み、または含む可能性があるときは、70℃、30分間以上

または80℃、3分以上の加熱処理を徹底

1. 健康観察・早期通報の徹底

* 毎日、健康観察をしてください。
* 発熱、規律困難、けいれん、異常産の発生、死亡率の上昇などを異常を発見したら家畜保健所に連絡してください。

1. 人・物・車両によるウイルスの持ち込み防止

* 衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒を徹底してください。
* 衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用を徹底してください。
* 畜舎等の消毒は、次亜塩素酸ナトリウム液、アルカリ液、逆性石けん液等を用いて行ってください。

（付着した泥等を除去し、動力噴霧器を用いて、タイヤ周りを中心に荷台、運転席清拭含め車両全体を消毒。運転手の手指、靴底消毒も徹底）

* 消毒薬は、酸性とアルカリ性が混ざらないように注意し、十分効果のある濃度で使用

1. 消石灰の散布

* 豚舎周囲の、衛生管理区域境界に消石灰を散布しましょう。

消石灰の散布量目安：１kg/㎡

1. 野生動物対策

* いのしし、ねずみ等の野生動物の侵入防止対策を徹底してください。
* 豚舎周囲の清掃、整理・整頓（飼料タンクの下の飼料は野生動物を誘因します）

1. 適切な飼料と水の給与

* 野生動物等の排せつ物が混入していない飼料、水を与えてください。
* 飼料に肉を含み、または含む可能性があるときは、70℃、30分間以上

または80℃、3分以上の加熱処理を徹底

1. 健康観察・早期通報の徹底

* 毎日、健康観察をしてください。
* 発熱、規律困難、けいれん、異常産の発生、死亡率の上昇などを異常を発見したら家畜保健所に連絡してください。

農林水産省：<https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_tiku_manage/>

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

本情報に関するお問い合わせ及び通報先は

大阪府家畜保健衛生所

〒598-0048　泉佐野市りんくう往来北１－５９

TEL：072-４58-1151　FAX：072-４58-1152

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊